

新事業の創出へ向け新製品の事業化が着実に進む



高機能エラストマー製品事業部 新規開拓の取り組み

バンドー化学は中長期経営計画「Breakthroughs for the future」第2ステージ(BF-2)の指針の1つとして「新事業の創出」を掲げ、新製品・新技术の開発に取り組んでいます。その一環として開発されたのが、光学用透明粘着剤「OCAシート」や、高い自己修復性を持つ光学エラストマーシート「書き心地向上シート」だ。同社では高機能エラストマー製品事業部における新規開拓

の取り組みとして、「OCAシート」や「書き心地向上シート」のほか、除塵システム「BANDO MDEC(バンドーエムデック)」などの新製品の事業化に向けたステップが着実に進んでいる。同事業部で新事業を担当する営業部新規開拓グループの矢嶋陽一グループ長に、業績状況や主力製品の概要、用途展開の現況について聞いた。

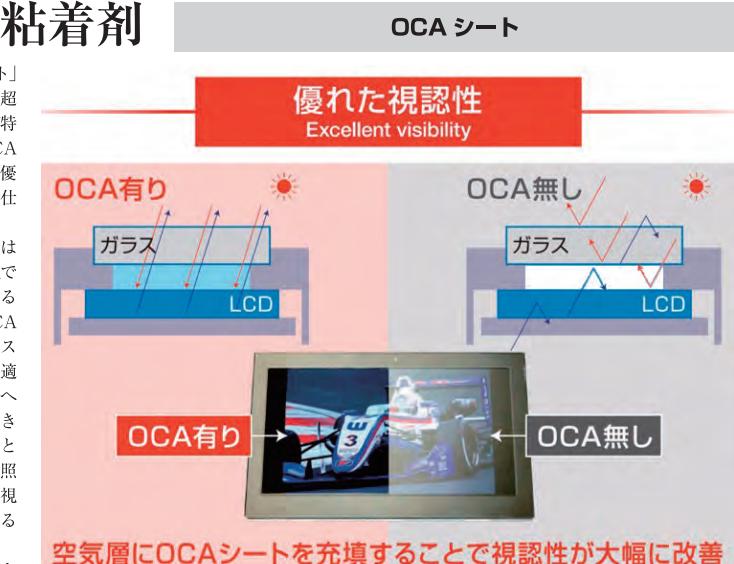
超厚膜の光学用透明粘着剤

バンドー化学は自動車部品事業、産業資材事業、高機能エラストマー事業の3事業部体制で事業展開している。また昨年4月には新事業推進センターを新設し、「新事業の創出」を加速させている。自動車部品、産業資材の両事業部は「コア事業の拡大」がメインとなるが、高機能エラストマー事業部は、コア事業に加え、将来の事業展開を見据えた新事業の創出にも取り組んでいる。

新事業分野では、特に「OCAシート」や「書き心地向上シート」など電子資材関連のほか、「BANDO MDEC」の用途開拓・販売拡大に力を入れている。

「OCAシート」は、液晶ディスプレイと外側カバーのガラスやプラスチックとの間に充填する透明粘着剤。液晶とカバーとの間の空気層に「OCAシート」を充填することで、直射日光が当たっても画面が白くならず優れた視認性を発揮する。

通常の「OCAシート」は25~250μほどの厚さだが、



カーナビやコントロールパネル、産業機器用の操作パネルやモニターなど、さまざまな用途に使用できるのが特長。(矢嶋グループ長)。

欧州メーカーの高級車では

カーナビや操作パネルの大型化が進んでおり、この流れは、高級車から普及車、欧州以外の地域のメーカーにも波及し始めており、バンドー化学の「OCAシート」の需要拡大が期待できる。また医療分野や船舶(探知機など)、メカニックタブレット、検査機器、防犯カメラのモニターなど一般産業分野での拡大も期待できるとしている。

車載用途や医療、一般産業分野で拡大をめざす

高付加価値製品への転換で大幅増益

高機能エラストマー事業部は、機能フィルム部門と精密機能部品部門に大別される。直近の19年3月期第3四半期業績では、機能フィルム部

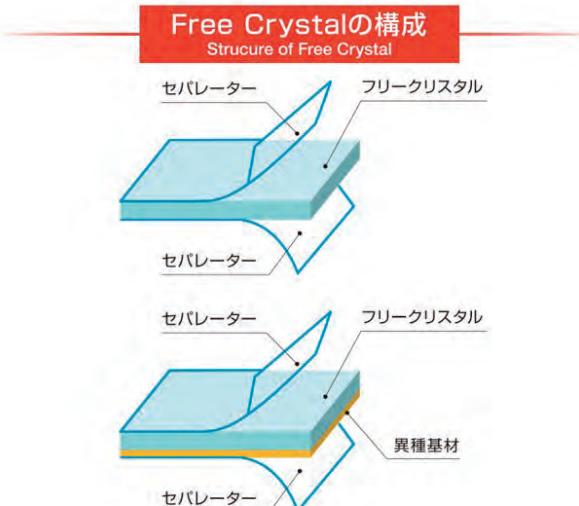
だったが、営業利益は高付加価値製品への転換が進んだことで6割近い増益となった。「精密機能部品部門のユーザーはOA機器メーカーが

メインだが、ペーパーレス化の進捗により、今後大きな需要増加は見込めない。既存製品は、OA機器以外の監視カメラや金融端末機器などの用途で販売拡大を図ることでポートフォリオ転換を進め

る。一方で新事業分野にもシフトする必要がある。OCAシートや書き心地向上シートは、その先鞭をつける製品だ」という。

同社ではBF-2の最終年度である2022年度に売上高

書き心地向上シート



自己修復性と高い透明性が特徴

「書き心地向上シート」は、透明なポリウレタンシートで①光学用途に適した高い透明性を持つ(ヘイズ1%以下、全光線透過率92%以上)②自己修復性を持ち、耐擦過性に優れる③エラストマー単層やさまざまなフィルムとの積層化が可能で、厚みも50~200μまで対応できるのが特長。

用途は、フレキシブル光学用シート、ディスプレイ用保護シート、自己修復性シート、ペンタブレット用書き心地シートなどを想定している。

「元々は政府が主導する、義務教育の現場におけるIT化を想定して開発した製品だが、現状は電子ペーパー端末の書き心地を向上させるシートとして採用されている。エラストマー層のあるタイプは少ないため、独自用途への展開も模索している」(同)。

除塵システム「BANDO MDEC」も期待する製品のひとつ。半導体の基板や液晶

フィルムなど電子部品・材料などの製造現場では、マイクロダストといわれる微細なゴミやチリの混入による製品不良が大きな問題になっているが、製造現場を悩ますこのマイクロダストを効果的に除去するクリーニングシステムとともに、回収ダストの分析により発塵源の特定と歩留まり向上に貢献③コンパクト設計で、



電子ペーパー端末などへの採用進む

既存ラインに設置可能④ユニットの着脱がしやすく、メンテナンスが容易——などが特長。

「バンドー化学は部品メーカーではあるが、今後は装置メーカーとしての側面を拡大していく方針だ。BANDO MDECの販売は徐々に拡大しており、環境モニタリングツールとして上市したBANDO DEC-20を含め、認知度を向上し、さらなる拡販に力を入れていく」(同)